

岡山県の地震

令和7年(2025年)11月

目 次

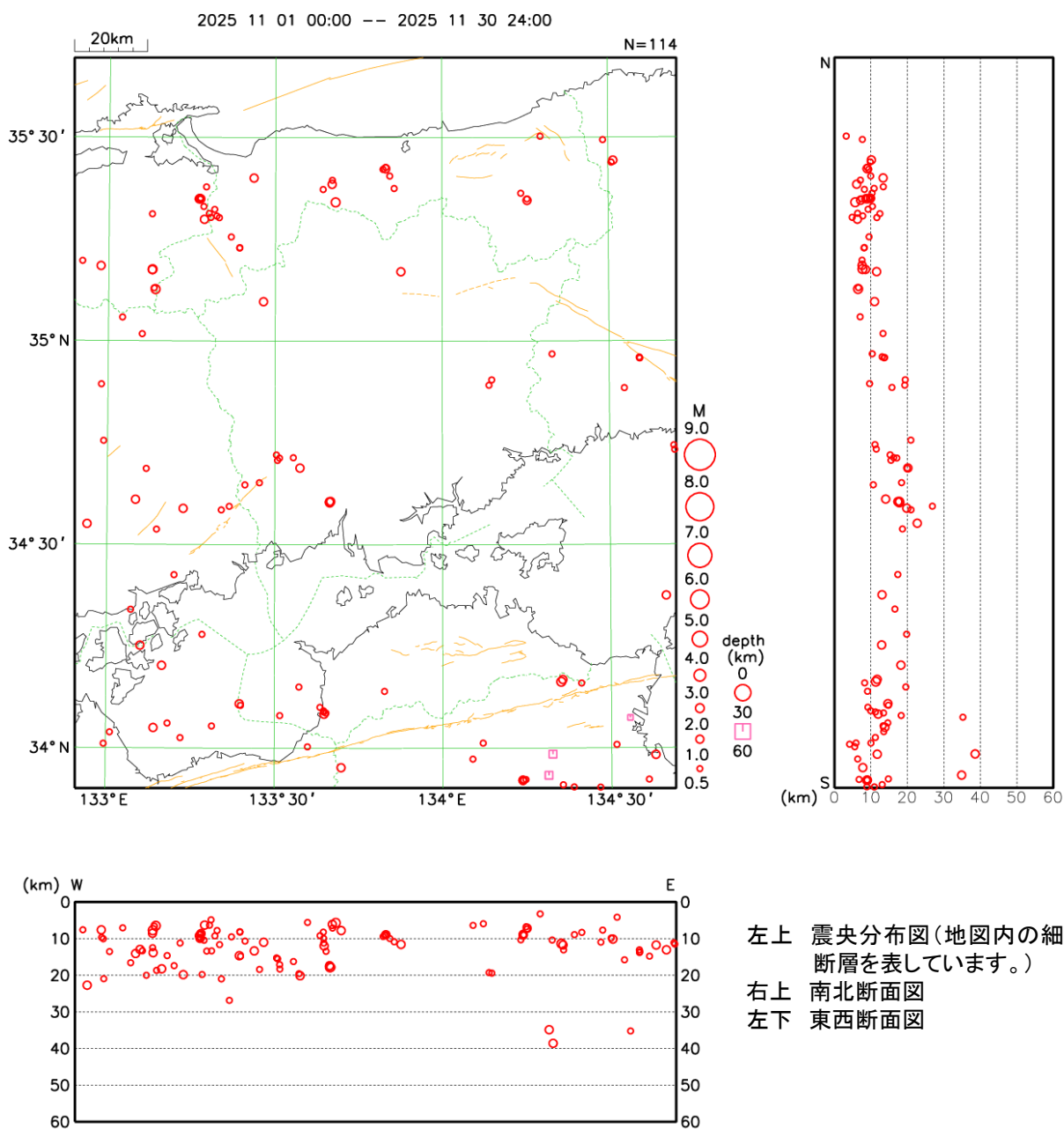
○岡山県及びその周辺の地震活動（11月）	
震央分布図及び断面図	… 1
概 況	… 1
岡山県において震度 1 以上を観測した地震の表	… 2
岡山県において震度 1 以上を観測した地震の震度分布図	… 2
○地震防災メモ No.239	
南海トラフ地震臨時情報について	… 3

- 「岡山県の地震」は、月 1 回発行し、岡山県及びその周辺の地震活動をお知らせするとともに、適宜、社会的関心の高い地震について解説します。また、「地震防災メモ」により地震、津波に対する防災知識の普及等に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。
 - この資料の震源要素、震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
 - 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

岡山地方気象台

岡山県及びその周辺の地震活動(11月)

震央分布図及び断面図



左上 震央分布図(地図内の細線は活断層を表しています。)

右上 南北断面図

左下 東西断面図

概況

・11月に岡山県で震度1以上の揺れが観測された地震は1回(前月:1回)でした。

岡山県において震度1以上を観測した地震の表(11月)

2025年11月25日18時01分 熊本県阿蘇地方 32° 59.8' N 131° 06.4' E 9km M5.8

----- 地点震度 -----

岡山県 震度 1: 倉敷市水島北幸町*, 岡山南区浦安南町*

注) 1 内容は暫定値であり、後日再調査のうえ、修正されることがあります。

なお、地震データの確定値は『気象庁地震・火山月報(カタログ編)』に掲載されます。

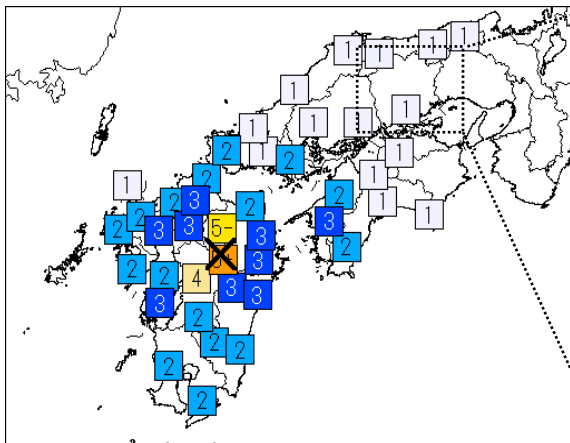
2 地名に*印を付したものは、岡山県又は防災科学技術研究所の震度観測点によるものです。

なお、震度は気象庁震度階級表によるものです。

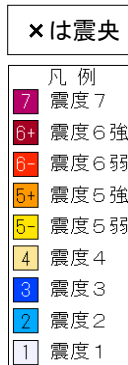
岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図(11月)

2025年11月25日18時01分 熊本県阿蘇地方の地震

各地域の震度分布



岡山県及び周辺観測点の震度分布



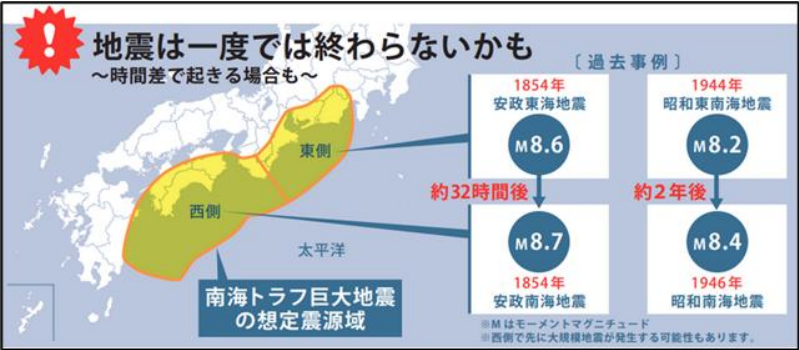
<地震の概要>

25日18時01分 熊本県阿蘇地方の地震(深さ9km、M5.8)により、熊本県産山村で震度5強を観測したほか、近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度5弱～1を観測しました。岡山県では倉敷市、岡山市で震度1を観測しました。

南海トラフ地震臨時情報について

南海トラフ地震については、前回(No.238)の地震防災メモで過去の発生時期等の調査から今後30年以内に発生する可能性が高いと評価されていることをご紹介しましたが、過去の発生の様式についても詳しい調査がなされており、想定震源域のほぼ全域で同時に地震が発生することもあるれば、一度の地震で終わらず東側半分の領域で大規模地震が発生し時間差で西側半分の領域でも大規模地震が発生するなど、多様性があることがわかっています(下図)。例えば、直近の事例では、東側で昭和東南海地震(1944年12月7日)が発生した2年後に西側で昭和南海地震(1946年12月21日)が発生しました。

気象庁では、大規模地震の発生の様式に関する調査結果等に基づいて、南海トラフ沿いの想定震源域で一定規模以上の地震が発生するなどの異常が観測され、続けて大規模地震が発生する可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合に「南海トラフ地震臨時情報」を発表します。



南海トラフ地震臨時情報は、初めの地震の発生場所や規模等によって(巨大地震警戒)や(巨大地震注意)等のキーワードを付して発表します(下表)。令和6年8月8日には日向灘の地震(モーメントマグニチュード※7.0)が発生したことにより、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)を発表しました。 ※モーメントマグニチュード： 震源断層のずれの規模を精査して得られるマグニチュード

キーワード	情報発表条件
(調査中)	観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
(巨大地震警戒)	巨大地震の発生に警戒が必要な場合 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてモーメントマグニチュード8.0以上の地震が発生したと評価した場合
(巨大地震注意)	巨大地震の発生に注意が必要な場合 南海トラフ沿いの想定震源域内でモーメントマグニチュード7.0以上8.0未満の地震が発生したか、プレート境界において通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合
(調査終了)	(巨大地震警戒)、(巨大地震注意)のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

南海トラフ地震臨時情報はいわゆる「地震予知情報」ではありません。南海トラフ地震臨時情報が発表されていなくても突然南海トラフ地震が発生することもありますし、発表されると必ず南海トラフ地震が発生するものではありません。

このような情報を如何に防災に活用すればよいのでしょうか。
岡山県では南海トラフ地震が発生した場合に著しい地震災害が生ずるおそれがある県南の14市町が「南海トラフ地震防災対策推進地域」に指定されています。このような地域では、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)または(巨大地震注意)が発表されたときは、【日頃からの地震への備えの再確認】に加え、すぐに逃げられる態勢の維持や【特別な備えを行う】などの対応をとりましょう。
この南海トラフ地震に限らず、地震はいつ起こるかわかりません。日頃から地震に備えましょう(右図)。



(参考) 気象庁「南海トラフ地震に関連する情報」について
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/nteq/info_criterion.html
内閣府 南海トラフ地震臨時情報が発表されたら！
<https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/rinji/index.html>